

項目20:障害児支援 ○:良かった事 ヒントNO①、②、③、④、⑤

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	ヒ ン ト N O	○ ●	コメント ヒントNO①:乳幼児健診 ②:児童相談所 ③:生活 ⑤:外出時
1	8	F	A2	23	20	1	○	1歳半健診で、指差しや言葉の理解がなく、「母と子のこころの相談室」を紹介してもらい、その後のわかば学園での療育相談、通園へとつながった。
2	13	M	A2	23	20	1	○	乳幼児健診で開始時間より早めに見て頂き、待ち時間でパニックになりそうだったので、助かった。
3	16	M	B2	33	20	1	○	日中支援の方の接し方がよい
4	20	M	B1	61	20	1	○	三歳児健診で「ひよこ園に通ってます」の一言であれこれ聞かれずに短い時間で健診を受ける事が出来た。
5	22	M	B3	72	20	1	○	1歳6ヶ月健診からずっと公的な療育機関(通園・言葉の教室など)で療育してもらえたこと
6	24	F	A1	51	20	1	○	保健師が親身になって相談に乗ってくれた。厚木市の通園へも早く通所出来るようになった
1	12	M	A1	23	20	2	○	日常生活のストレスで、本人が混乱し問題行動が多発し、家族が疲れ果ててしまった時に、児童相談所の対応が早く、避難措置として短期入所の手続きをして頂きとても助かった。その後も、様々なアドバイスを頂き有難い。
2	12	男	0	22	20	2	○	小学校で行き詰った時、手帳申請時のテストも含め、小学校に足を運んで本人の様子を伝え、支援して下さった。
3	12	男	0	22	20	2	○	同じレベルの手帳のお友達のグループ活動に誘ってもらった。本人も同じ目線でやり取りができるお友達のグループ活動で生き生きしていた。
4	14	M	0	21	20	2	○	診断を受ける事が出来て助かった。
5	14	M	0	20	20	2	○	児相では小学校時代多くのイベントなど話していただいて楽しい思い出を作りました
6	19	M	B2	51	20	2	○	療育手帳の審査時、丁寧に対応してくれた。
7	28	M	A1	51	20	2	○	保育園に申し出て、児相を紹介していただき、そこから小児療育相談センターにつながり、そこからまた久里浜の特総研につないでいただけたのは良かった。
9	31	M	A2	51	20	2	○	こどもの心配事や話はよく聞いてもらいました、だけど問題点の解決までにはいかなかったです。
10	34	M	A2	51	20	2	○	当時でいう、訓練会を紹介してくれて、親同士のつながりができた。
11	35	M	B1	61	20	2	○	親の育て方ではないと言われた。
1	37	男	A2	51	20	3	○	統合教育の中で、比較的友達が遊びに来てくれた。
1	17	M	A2	35	20	4	○	けやき体育館での行事(卓球、フットサル、バトミントン等)や麻溝公園でのポニー乗馬などで、色々な経験ができた。
2	19	男	B2	51	20	4	○	本人が、家や塾で、自分の事を分かってくれる人がいることを学んだ。
3	33	F	B1	51	20	4	○	習い事を近所の先生が受け入れていただき、週1回のレッスンの後自宅に戻ると自主的に練習を行っている
1	16	M	B2	33	20	5	○	学習塾、習い事で本人の障害を説明したら受け入れてくれた
2	17	M	B2	35	20	5	○	あまり外出せずストレスが溜まっていたが、療育手帳を取得し、毎週8時間ヘルパーと好きな所へ行けるようになり、本人も喜んでいる。
3	19	男	B2	51	20	5	○	外出訓練をし、自力で外出できるようになった。
4	37	M	A1	51	20	5	○	外出時は一歩家から出れば気を使うことばかりですが、なれてもらうことで怖がられたり不思議な動作にびっくりされることがなくなった。

項目20:障害児支援 ○:良かった事 ヒントNO⑥:地域との関わり

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	ヒ ン ト N O	○ ●	コメント ヒントNO⑥:地域との関わり
1	15	M	A2	35	20	6	○	専門的なことは分からなくても、身近な人々、地域、友人の支援が支えとなる
2	15	M	A2	23	20	6	○	5歳頃、子供が家から居なくなってしまった時に地域の自治会長が探すのにとっても協力してくれた。
3	18	F	A1	51	20	6	○	本人の障害を理解してもらい、子供会行事なども無理なく参加できた。
4	19	男	B2	51	20	6	○	一斉清掃やごみ捨てに参加しているので、挨拶してくれる人もいる。
5	21	M	B2	62	20	6	○	近所の方に育ちを見守ってもらった。集団登校で地域の母親たちに様子を見てもらう・相談・子ども同士のトラブル等、一緒に理解してもらった。又、兄弟児にとっても他の兄弟関係を見ることが出来、障がい者の弟が特別ではない、弟に対する思いやりなど体験できた

6	35	M	A1	51	20	6	○	姉がいたので、地域の行事等小さい時は一緒に参加できた
7	37	男	A2	51	20	6	○	地域で体操教室グループを作り、それが今の作業所の母体となった。
8	38	男	B1	51	20	6	○	行方不明になってしまった時に一緒に探してくださった。
9	38	男	B1	51	20	6	○	ベランダで大声を出していても気にせず、声を出さない日が数日続くと、病気ではないかと心配してくださった。
10	38	男	B1	51	20	6	○	大きくなって一人で外出できるようになった頃、「どこそこで見かけた」など情報をもたらえた。
11	38	M	A2	51	20	6	○	親の会、訓練会が活発だったので、親同士のつながりが助けになった

項目20:障害児支援 ○:良かった事 ヒントNO⑦:放課後・預かり支援

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	ヒ ン ト N O	○ ●	コメント ヒントNO⑦:放課後・預かり支援(学童クラブ、日中一時支援事業、児童デイサービス、延長保育、地域での保育、移動支援事業)
1	8	F	A2	23	20	7	○	日中一時支援、移動支援は、親に用事があってバスのお迎えができないとき、事業所で引き取り家まで送ってくれるので助かっている。
2	9	M	0	22	20	7	○	市でSSTの費用を支援していただけるのは非常にありがたい。
3	9	M	0	22	20	7	○	ペアレントトレーニングにより、子どもとの関わり方が良い方向に変わった
4	9	M	B2	21	20	7	○	学童クラス、デイサービスが助かっている
5	9	M	0	22	20	7	○	日中一時支援事業(療育あり)で、やるべきことが決まっており、子どもの理解に合わせたスケジュールと手順書(写真付き)を用意してくれるので、楽しく自信を持って過ごせているようだ。
6	10	男	A2	23	20	7	○	デイサービスで利用者の要望に何とかこたえようと頑張ってくれている。
7	11	F	B1	22	20	7	○	音に敏感で、人混みも苦手な親と買物に行っても車の中で待っている子どもだが、ガイドヘルパーとは、外出するものだと思っているようで、スムーズに出かけられる。
8	11	男	A1	23	20	7	○	デイサービスや、日中一時を活用できてよかった。
9	11	男	A1	23	20	7	○	相談できる事業所があるので助かります。
10	11	M	B3	22	20	7	○	年齢が上がるにつれ、親だけで外出時に対応しきれなくなりました。その時、日中一時支援・移動支援事業が利用でき、とても助かっています。
11	11	F	B2	21	20	7	○	春休み、夏休みなどの長期休みに日中一時支援を使う時があり、預かってもらえて助かったことがあります。
12	11	F	B2	21	20	7	○	わかば塾では、子どもにあわせた活動をし、親は悩みを話したり、進路相談などもできる。
13	11	M	B2	22	20	7	○	一対一で付いてくれる事業所があり、宿泊もできるので、親の会活動等で安心して利用できる。
14	11	M	B1	22	20	7	○	ワンピース(放課後等デイサービス)では送迎をしてもらえ、鍵の確認などもしてもらえ助かっている。
15	12	M	B2	22	20	7	○	学童クラブに小学校の6年間参加できた。
16	12	男	0	22	20	7	○	ドアを乱暴に開け閉めしていたら、「やさしくあけてくれるとうれしいです」という紙を作って、優しく開けた回数も書き、対応してくださり、やさしく開閉できた。
17	12	男	0	22	20	7	○	不登校気味の時、デイサービスに声をかけてもらい喜んで出かけ、引きこもり状態にならずに済んだ。
18	12	男	0	22	20	7	○	デイサービス中にうまくいった対応方法を教えてもらった
19	12	男	0	22	20	7	○	市が行っているファミリーサポートが登録制度で、母親の病気など緊急の時に助かった。
20	12	M	B2	22	20	7	○	小学低学年のとき利用していたデイサービスは少人数で公園等に連れて行ってきて、友達関係を築くのによかった。
21	12	M	B2	22	20	7	○	送迎のある預かり支援ができて、気持ち・体力ともに楽になった。
22	12	F	A2	23	20	7	○	比較的サービスが充実している地域なので助かっている。学齢期になっても療育を受けられたり、放課後や休日に子どもを預けられるのは有難い。
23	13	M	A2	23	20	7	○	色々な友達と関わりができて、親じゃ出来ない体験がさせられた。親子で助けてもらっている場所です
24	14	M	A1	23	20	7	○	家庭以外で過ごせる場があるのは、とてもありがたい。
25	14	M	A2	23	20	7	○	児童デイサービスは家や学校以外で楽しい活動ができ、助かっています。
26	14	M	A1	23	20	7	○	日中支援、児童デイなど、心配なく預けられる
27	14	M	A2	23	20	7	○	とても助かっている。

28	15	M	B1	35	20	7	○	日中一時支援やヘルパーとの外出は、兄弟時の学校行事にも心配することなく参加できるようになったり、安心して仕事もできるようになった
29	15	M	A1	35	20	7	○	母の入院時に移動支援で夕方まで出掛けてもらえたので助かった
30	15	M	A1	35	20	7	○	仕事が出来ようになり助かった
31	15	M	A1	23	20	7	○	様々な放課後支援事業のおかげで、きょうだい児の行事や勉強会に参加可 に。
32	15	M	A2	23	20	7	○	預ける事ができて助かった。
33	15	M	B1	22	20	7	○	新しい場所にはなかなか慣れないので、サービス利用開始時には、かなり抵抗されるが、一人ベテランの先生がつき、根気強く対応してもらった。
34	15	M	B1	35	20	7	○	パートタイムの仕事をしているので、学童、日中一時支援、移動支援事業等を使わせてもらうことができ助かっている。
35	15	M	B1	35	20	7	○	週に1回、安心して預けられる場があったよかったです。
36	17	M	A2	35	20	7	○	児童デイサービスで色々な経験をさせてもらっている。
37	17	M	B1	23	20	7	○	本人の行きたい場所が尊重される。忘れ物も届けてくれる。
38	17	M	A2	35	20	7	○	日中一時支援事業所が出来たので良かった。小学校低学年の頃は無かったので。
39	17	M	B2	23	20	7	○	短期入所は、本人も気分転換になるのか喜んで行き、親にとってもリフレッシュできる。
40	17	M	B2	23	20	7	○	弘済学園は楽しいです。(本人)
41	17	M	A2	23	20	7	○	ガイドヘルプ(移動支援)を使うことができ、プールや映画などに連れて行ってもらい、親が用事がある時にとっても助かった
42	18	F	A1	51	20	7	○	学校と自宅間の送迎があり助かった。
43	18	F	B1		20	7	○	移動支援を使うことで、社会性を育む助けになっている。
44	18	M	B1	51	20	7	○	移動支援を利用し、余暇活動の場所がふえ、楽しむことができている。
45	18	M	A1	51	20	7	○	紅梅サポートセンターで支援中の子どもの問題行動をがっこうの先生に相談してくれた
46	19	男	B2	51	20	7	○	サポートブックを作り、支援者に渡したところ、トラブルが起こりそうなことが書いてあるので助かると言われた。
47	19	男	A2	51	20	7	○	日中一時支援事業所では、騒々しい場が苦手な息子が落ち着いて過ごせるよう、パーテーションを用意してくれた。
48	19	男	A2	51	20	7	○	行動観察で子どもの様子が気がかりな時に学校の担任と連携をとり、有効な支援を考えてくれた。
49	19	F	A1	51	20	7	○	日中一時支援、移動支援を一对一对応でやってくれるところは、とても有難い。少し不安定で心配なときもお願いできる。
50	19	M	A1	51	20	7	○	移動支援で 緊急時にも快く対応してくれたり、こまめに移動中の連絡をくれる
51	21	M	A1	51	20	7	○	移動支援や日中一時のサービスを受けられ、助かっている
52	21	M	A1	51	20	7	○	理解のあるヘルパーに出会えて心強かった
53	22	男	A1	51	20	7	○	子どもが夜寝ないなどということも言ったので、母親が休み、これからどう育てるかを考える時間のために預けることができた。子どもも嬉しそうだったので良かった。
54	22	M	A1	51	20	7	○	日中一時支援が助かっている
55	23	F	A2	51	20	7	○	移動支援のおかげで、本人の生活が広がった。
56	23	M	A1	51	20	7	○	クラスのお母さん方が登校介助をしてくれた
57	23	M	B1	51	20	7	○	市内にレスパイト事業や中高生デイサービス事業ができ、様々な支援が可能になった。
58	24	M	A2	0	20	7	○	近くの幼稚園は預かってくれず、遠くの保育園で預かっていただき、そのまま学童保育へ。兄弟もいない、近所でも遊べずでしたが、おかげでいろいろ体験できた
59	25	M	A1	51	20	7	○	学童ホームは陳情書を市議会に提出、3年後に4年迄利用可能になった
60	35	M	A2	62	20	7	○	ガイドヘルパーの利用については、本人の社会性に大きく影響するようだ。悪い言葉も覚えるが、そこで得る経験は親が与えるものとは違うように思える。

項目20:障害児支援 ○:良かった事 ヒントNO⑧:部活動

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	ヒ ン ト NO	○ ●	コメント ヒントNO⑧:部活動
1	14	M	A1	23	20	8	○	中学の部活動で体を動かすことが増え、エネルギーを発散出来て多少落ち着いた。なかなか余暇を過ごす場がないので助かっている。
2	14	M	0	21	20	8	○	部活は、他の人に迷惑もかけて、いつ辞めさせられるかと思っていましたが、顧問の先生の理解もあり、部活も本人にとって学びの場であるからと、続けられるようにクールダウンの場所をつくっていただいたり、困ったときに本人の話を聞いてくださるなど支援していただきました。
3	15	M	B2	34	20	8	○	他のクラブで本人がやる気なら仮入部という形できつくならないよう参加させてくれた
4	16	M	B3	23	20	8	○	高等部の部活動が週3日、1時間あり負担なく参加できる。試合等もあり活動範囲が広がった。
5	17	M	A1	35	20	8	○	学校の部活動は自立登下校できる生徒が入部の条件だが、本人が「やりたい」という気持ちになってたという事で参加させてもらっている。
6	19	男	B2	51	20	8	○	高等部の部活では試合に行くなど様々な経験ができた。生徒同士の間に通訳をしてくださる先生が居てくれたおかげだと思う。
7	23	M	精2	61	20	8	○	休日練習でも昼食スペースは確保して下さった。それ以前は下駄箱前で食べていた(中学校部活)
8	27	M	B1	52	20	8	○	中学の部活動では顧問が熱心で部員も親切。3年間継続し、級位も取得できた。

項目20:障害児支援 ○:良かった事 ヒントNO9:学習塾・習い事

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	ヒ ン ト NO	○ ●	コメント ヒントNO9:学習塾・習い事
1	7	M	B2	22	20	9	○	スイミングに通っているが、子どものペースに合わせて教えてくれる(マンツーマン指導なのでパニックをおこさない)
2	7	M	B2	22	20	9	○	習い事のお勉強もその時、様子を見て指導してくれる
3	8	F	B1	22	20	9	○	指導者に日常の悩みなども相談できる。
4	8	F	B1	22	20	9	○	リトミックでは親も一緒に活動するが、リラックスできる。
5	8	M	0	21	20	9	○	知能検査で「絵が上手」とほめられて、早速お絵かき教室に入れた。幼稚園併設の教室で、先生はおっとりとして優しく接してくれる。日ごろスケジュールに追われて気持ちが休まらない生活になりがちだが、お絵かきは落ち着きを取り戻す場になっているようだ。
6	9	M	0	22	20	9	○	市の子供囲碁教室で、障がいを受け入れて頂き、貴重な定型発達の子たちとの交流の場になっている。
7	11	F	B2	21	20	9	○	スイミングを習っているが、少人数なので、子どもにあわせた練習を行ってもらえる。
8	11	M	0	22	20	9	○	(公文で)年少から始めた公文は始めは大変でしたが、すぐ理解のある先生にめぐまれ今では自分より下の子の教材のマル付け(算数のみ)をさせていただくお手伝いを公文でしています。もう、高校生になったらアルバイトをする気持ちになっており、すぐはげみになっています。
9	11	M	B1	22	20	9	○	スイミングでは言葉では伝わらないことを体で教えてもらえ、ずい分泳げるようになった。
10	12	M	B2	22	20	9	○	小さいころから通っているスポーツクラブは、息子がわかりやすいように立ち位置にマットを引いてくれたり、色テープを貼ってくれた。
11	12	M	0	20	20	9	○	スイミング、ピアノの習い事では理解をしてもらい、トラブルは特に無かった。
12	12	M		21	20	9	○	公文に通っているが、先生が自閉症に理解があり、適切に対応してくれる。得意な算数は褒められるので本人の意欲的になった
13	13	M	B3	22	20	9	○	事例9同様、ビート板による構造化が図られた。
14	14	M	0	20	20	9	○	スイミングYMCAでは細かい配慮があり、長く続けることができています
15	14	M	B3	21	20	9	○	学習塾で、子どもの障がいを理解して下さる先生が、性格のあわない生徒とは別部屋で学習させ、勉強に集中させてくれた。
16	14	F	0	21	20	9	○	秦野市内にはまだ少ないが、近隣を探せば、受け入れてくれるところが増えた

17	14	F	B2	22	20	9	○	公文の教材は、自閉症の子供にはとても合っていると思う。障害児教育にも力を入れている。前もって相談をすれば、時間についても配慮してくれたし、特別に指導もしていただいた。ただ、教室によって、先生の力量は全然違う
18	14	F	B2	22	20	9	○	進研ゼミのこどもチャレンジの教材も自閉症の子供にととても合っている。教材と一緒についてくる副読本にある学校行事などの説明は構造化の極みで、小学校に入るとき、宿泊訓練、修学旅行、中学校に入るとき、前もって内容を本人が知るのに大いに役立っていた
19	15	男	A1	23	20	9	○	自閉症理解のためのパンフレットを先生に渡して本人の様子を書いたサポートシートを合わせて読んでいただいた。スケジュールボードを使って10分のレッスンからスタートした。本人が見通しを持ってレッスンを楽しめるようになるまで時間はかかったが、今では週1回30分のレッスンを楽しみにしている。
20	15	M	B1	35	20	9	○	卒園した一般の幼稚園のスイミングスクールに入れてもらえ、遠くに通うことなく水泳を覚えられた
21	15	M	B2	34	20	9	○	子どもを理解してくれようとし、気長に忍耐強く指導してくれた
22	15	M	0	22	20	9	○	良く理解してくれる学習塾に出会い、中学2年から塾通いをするようになった。
23	18	M	A1	35	20	9	○	YMCAでマンツーマンで体操やプール・宿泊もあるキャンプに参加でき、子どもも親も楽しめた
24	19	男	B2	51	20	9	○	学習塾では興味関心のあるところから伸ばしてもらった。
25	19	男	B2	51	20	9	○	集中が続かない息子に、短時間ずつのプログラムを用意してくれた。
26	19	男	B2	51	20	9	○	ピアノ教室で、引きたい曲を弾いている。発表会で緊張しながら頑張り、拍手をもらって達成感を感じている。
27	19	男	A2	51	20	9	○	遊び体験をした和太鼓が楽しく、そのまま習い事になった。本人目線で無理強いすることないので、続けられている。
28	19	F	A2	51	20	9	○	公文教室に小学生の時、二年間通っていた。教材が向し子供の力で随分進んでいた事を先生が気に掛けてくれ、周りの子どもとも目立ったトラブルもなく過ごせた
29	19	M	A2	51	20	9	○	YMCAに障害児クラスがあったので、体操・水泳・キャンプを利用して助かった
30	22	M	B3	72	20	9	○	(小4～現在)YMCAでのSSTに通うことで、社会スキルの獲得、色々な経験、なんでも相談できる友人に出会えたこと
31	23	M	精2	61	20	9	○	同じ学校のいやな人間とは時間がかちあわないように配慮していただいた(学習塾、水泳教室)
32	30	M	B1	51	20	9	○	水泳は小4から継続。今も一般の人と一緒に活動している。
33	32	M	A1	51	20	9	○	親同伴であったが、いろいろなものがあった。個人指導の絵の教室、スイミング、総合的な親子教室
34	34	M	B1	51	20	9	○	水泳・マラソンと支援していただき、体力向上に助かりました
35	35	M	A1	51	20	9	○	母親も一緒に学んだ、学ばせてもらった。

項目20:障害児支援 ●:困った事 ヒントNO①:乳幼児健診

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	ヒ ン ト N O	○ ●	コメント ヒントNO①:乳幼児健診
1	9	M	精2	21	20	1	●	1歳半からきざしがあり、親は心配していたが、1歳半、3歳と引っかからず、今思えば、何も教えてくれなかった。
2	10	F	0	21	20	1	●	乳幼児健診でいつも問題なし、お母さんが心配性と言われた。その後、問題がありそうな子どもを集めた教室にかよったが、そこでも問題ないと言われた。
3	10	男	A2	23	20	1	●	乳幼児健診で広い部屋に大勢の親子でゴった返していたので、やはり健診を受けられる精神状態でなくなってしまいすぐに帰った。
4	11	F		21	20	1	●	一歳半健診から療育に直接つながらなかった。(愛情不足では?と言われた)
5	12	M	0	20	20	1	●	乳幼児健診はすりぬけてしまった。発見が難しいのだろうと思うが、3歳までの療育が大切と後から知ってとても悔やまれた。
6	14	男	B2	22	20	1	●	大人数を嫌がり、なかなかできなかった。人がいなくなってやっとできた。
7	14	F	B2	22	20	1	●	子供の言葉が遅いことに悩んでいたとき、発達は個人差がつきもので人と比べるなどよく言われた
8	15	M	B2	34	20	1	●	無知な小児科医が、発達の遅れている子はたくさん友達を作って遊ばせなさい、と言いき、指示通り頑張っていたら子どもに負担をかけてしまった
9	16	M	0	31	20	1	●	1歳半健診の時、耳の聞こえか視力だったかで、再検査になり、そこでの対応がひどかった(今思えば、何をするのか理解する前に検査が進んでしまったため、できなくて再検査になったのだが)。親に対する言い方、子どもに対する態度、共にとてもひどいものだった。
10	16	M	A1	35	20	1	●	予め「自閉症で聴覚過敏です。」と伝えていたのに当日担当者に大きな声で挨拶をされパニックになった。
11	17	M	B2	23	20	1	●	乳幼児健診で、保健婦さんから心無いことを言われ、その後相談に行けなくなった
12	17	F	A2	35	20	1	●	兄弟児に自閉症がいるとわかると興味本位な質問をされた
13	18	M	A2	51	20	1	●	小児科の二歳児健診「心配ない」二歳半頃相談した市の保健師さん「もう少し様子をみましょう」と言われた。
14	19	M	B2	51	20	1	●	3歳時に発達の不安を訴えたが「表情が豊かである」と言われ見逃された。
15	19	男	B2	51	20	1	●	3歳児検診まで「様子を見ましょう」と言われ不安だった。
16	19	男	A2	51	20	1	●	1歳半検診では、言葉は遅いが快活な子どもと診断。スクリーニングにかからなかった。
17	19	M	A2	51	20	1	●	保健師が家庭訪問した際、息子がミニカーを並べていたら「こういう時は崩してください」と言ってバラバラにし、息子はパニックを起こしていた。当時はこれが正解だと思っていた。
18	19	F	A1	51	20	1	●	もう少し様子を見ましょうと言われると、ますます不安になった。
19	19	M	B2	72	20	1	●	乳幼児検診で知的障害をはっきりと指摘されず(言葉の発達のみ遅かったので)特に専門医などの紹介もなかったが、発達障害等の可能性を示唆してくれていれば就学してよけいなじめにも会わず、親子ともども余計なつらい思いをしなくて済んだのではないかと思った
20	20	女	A1	51	20	1	●	1歳半健診のスクリーニングから、通所施設で療育を受けるまでに時間を要した。
21	20	女	A1	51	20	1	●	スクリーニング後に受けたフォローでは、保健師や保育士に自閉症の知識が乏しかった。
22	20	女	A1	51	20	1	●	臨床心理士も自閉症に土江の知識が乏しかった。
23	20	M	B1	51	20	1	●	乳幼児検診では一般の受診者と一緒。できない事が多く、保健婦とその場にいた母親達に笑われた。最後まで受け、相談まで2時間待った。様子を見ていた保健師が1人でも声をかけてくれたらと思った。
24	20	M	A2	52	20	1	●	健診で見落とされたので、自分の育児に自信をなくし悩んだ
25	22	男	A1	51	20	1	●	一歳半検診で「大丈夫ですよ」と言われた。
26	22	M	A1	51	20	1	●	親の心配を「大丈夫様子を見ましょう」と流された
27	22	M	B1	51	20	1	●	1歳半検診、三歳児検診で泣いて暴れたとき、医師に「育て方が悪い」と怒鳴られた。結果として早期発見に至らなかった。
28	24	男	A1	51	20	1	●	「何かができるようになるというような目標よりも情緒の安定が目標です」との個別の目標を提示され、子どもの成長を感じる機会が乏しかった。

29	24	男	A1	51	20	1	●	1歳半検診で保健師は息子が自閉症であろうとほぼ確信していたのに、母親が自ら気付くまで、診断・告知につながるような話を一切せず、早期療育に着手するのが遅れた。
30	33	M	A1	52	20	1	●	2歳前後の頃、母親が異常に気付き小児科の開業医に相談したが「3歳まで様子を見ましょう」と言われた。
31	35	M	B1	61	20	1	●	1, 6検診で様子を見ましょうと言われた。確実に障害児と言える時まで指をくわえて見ているということか。何もアドバイスがなかった。
32	36	M	A1	51	20	1	●	乳幼児健診で診断が特定できず、たらい回しの扱いを受けた。
33	37	男	A2	51	20	1	●	昔は三歳児健診まで自閉症をチェックする機会がなかった。
34	38	男	B1	51	20	1	●	言葉が出ず心配していたのに「様子を見ましょう」で終わった。
35	38	男	B1	51	20	1	●	時代的に、まったくサービスが無かったので、全て家族で引き受けざるを得なかった。

項目20:障害児支援 ●:困った事 ヒントNO②:児童相談所

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	ヒ ン ト N O	○ ●	コメント	ヒントNO②:児童相談所
1	7	M	A2	23	20	2	●	児童相談所の薄暗い雰囲気は何度行っても慣れない	
2	9	M	精2	21	20	2	●	当時の幼稚園とのパイプになっていただきたかったが無理だった。	
3	10	男	A2	23	20	2	●	自閉症の対応や療育の相談に行ったが、児童相談所内の診療でも、普通の病院と変わらない医師の姿勢に戸惑って、すぐ他の先生を探してしまった。	
4	12	F	B3	21	20	2	●	3~11才まで療育手帳がなかったため、十分な支援が受けられなかった、学齢期までは手帳取得の条件を下げてほしい	
5	14	M	0	21	20	2	●	診断後に「もう、こちらで出来ることはありません」と放り出された。親の会の紹介もなかった。	
6	15	M	0	22	20	2	●	療育手帳をもらいに児童相談所に行きたいのだが、取れないだろうとの予想がかかりつけの先生より示され、行けていない。	
7	15	M	A2	35	20	2	●	児童相談所の担当者が理解してくれず、個人情報データを紛失した	
8	16	M	A1	35	20	2	●	予め「自閉症で聴覚過敏です。」と伝えていたのに当日担当者に大きな声で挨拶をされパニックになった。	
9	16	M	B1	35	20	2	●	療育手帳の判定の度にAとかBに変わるのが理解できない。育てにくさはAといってもいいくらい。	
10	17	M	A2	23	20	2	●	児童相談所で検査を受けるにあたり、職員により審査に差があるように感じた。一人ではなく2・3人で検査する、記録する人などとチームでするのが望ましいのでは。客観性を保つためにも	
11	17	M	B3	32	20	2	●	2, 3才の頃、児童相談所に通っていたが、ただ行っているだけの経過観察という感じでもどかしさを感じた。現在息子が17歳だが、これまで児童相談所が頼りになると感じたことはほとんどない。	
12	18	M	A1	51	20	2	●	手帳の判定で予約時間に行ってもいつも20~30分は待たされて困った	
13	18	M	A2	51	20	2	●	地域に安価に相談できる相談窓口がない	
14	19	男	B2	51	20	2	●	療育手帳の判定では、評価結果を聞けず、今後の参考にはならなかった。	
15	19	F	A1	51	20	2	●	あまり説明がないため、何のテストをどれだけやったのかもわからない。自分の子どものことだから、知能など、しっかり結果を書面で渡して欲しい。	
16	23	F	A1	51	20	2	●	判定の時、文字が読める事を伝えたがね判定材料に用意が無く、読めても判定に影響はないといわれた。医師の面談の際「知的に伸びる事はない」と言われ、それなら毎回面談する意味がないので呼ばないでほしい	
17	24	M	A2	0	20	2	●	児童相談所では様子を見ましょうだけ。訓練通いをしたが、今後の心配をし、はっきりと診断していただければ、かすかな期待で知的障害は頑張っ知育をすれば変わるのかと親の知識のなさで習い事など通わせ、本人は苦痛だったのか。先のことが分かっていたら違う対応ができたかと。	
18	24	F	B2	70	20	2	●	相談に行ってもただ話を聞くだけで質問に答えてくれない。相談員からは「話をきくだけしかできない」と言われた。たいいていの親は言うだけ言ったらスッキリするからさそうです。	
19	30	M	B1	51	20	2	●	初めて児相に行った時、障害名も知らないのに通園施設を勧められた。せめて障害の傾向だけでも説明が欲しかった。	
20	32	M	A1	51	20	2	●	相談は受けていたが、親が話に行くだけで、具体的な機関とつながらなかった	
21	35	M	A1	51	20	2	●	定期的に行っていても様子を見ましょうばかりで次の段階に何も進めなかった	

22	37	男	A2	51	20	2	●	児童相談所では2才になる息子がおしめをしているのを注意されたが、当然のことではあったが、悩んでいた私は辛く、二度と行きたくないと思えた。
23	38	M	A2	51	20	2	●	はじめて児相に相談に行った時、担当医師からあまり税金を使わないようにと言われてびっくりした

項目20:障害児支援 ●:困った事 ヒントNO③、④、⑤、⑥

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	ヒ ン ト N O	○ ●	コメント ヒントNO③:生活、④:遊びの場、⑤:外出時、 ⑥:地域との関わり
1	11	M	0	22	20	3	●	(告知後)本人と私共に大変だったなと思います。この時期の話を先輩の母親、当事者の子同士で話ができたり、当事者の方から直接話を聞ける所に私も参加するべきだったと感じたりしました。本人も同じ感じの人は分かり合えるかなと感じているようなので、いつか紹介してあげたいです。
2	16	M	A1	35	20	3	●	長期休暇の過ごし方
3	23	M	精2	61	20	3	●	給食と清掃の時間が規定通り終わらないと大騒ぎした(小学校低学年)
4	23	M	精2	61	20	3	●	クラスメートの名前を暗唱しろと強要された(小学校低学年)
5	24	男	A1	51	20	3	●	小学校の特学では交流中心の教育で、個別の課題よりもみんなの中で安定して過ごせるよう我慢を強いられた。
6	35	M	A1	51	20	3	●	いくつかのこだわりがあったので生活していく中で困ったことがあった
7	35	M	A1	51	20	3	●	生活全般にわたって親が無理を重ね、本人優先になるため、弟妹の育児や教育に支障をきたす場面があった
8	37	男	A2	51	20	3	●	特学に転校してからは、家族との生活だけになった。
1	7	女	B3	21	20	4	●	言葉で表現できない子どもの暴力のターゲットにされてしまう。やりあえないため。
2	8	M	A2	22	20	4	●	友達と約束して遊ぶチャンスがないため、親と余暇を過ごすことが多くなる。幼少期は子供会やイベントがあるが、年齢が上がるとチャンスが減る。
3	9	男	B2	21	20	4	●	「イヤ」ときっぱり言えないので「王様ごっこ」のターゲットのされてしまう。
4	12	男	0	22	20	4	●	遊び場ではデイサービス以外になく、地域のお子さんとは遊ぶことは難しい。
5	12	M	B2	22	20	4	●	児童館へ親子で言った時、障害があることを説明したが、走らないように、大きな声を出さないよう注意された。
6	13	M	A2	23	20	4	●	多動すぎて公園ではずっと追いかけてまわっていた。他人のおもちゃを使いたくてパニックを起こし、周囲の視線が冷たく逃げるように変えるパターンでした
7	21	男	A2	52	20	4	●	プールに母親が息子と一緒に入れる更衣室がなく、パーテーションで目隠しされた廊下で着替えていた。
1	7	女	B3	21	20	5	●	おむつなので長時間の外出ができない。
2	9	男	B2	21	20	5	●	おむつなので長時間の外出ができない。
3	11	M	B1	22	20	5	●	(外出時)電車に乗ったら、満席で、座る席がなくて怒っていた。
4	14	M	0	22	20	5	●	外出時、本人のことをよく知らないが故に何かして大きな声で注意されたり、どなられたりすることは親子ともにつらい経験でした(大きな声が苦手、怒られただけでどうすればいいか教えてもらわないと困惑するだけ)
5	14	M	A2	23	20	5	●	外出時、親の体調を考えて、夏休みなど人が多く出るときは、外出を控えてしまう。
6	16	M	A1	35	20	5	●	母と外出時、身障者トイレが見当たらず男子トイレに1人で入ったが、見守りができず外からの声かけのみの対応でひやひやした。
7	16	M	B1	35	20	5	●	いつもと違う道を通ろうとすると、道路上で気が狂ったように泣き叫び暴れていた頃、通行人に「子どものしつけもできないのか!!」と怒鳴られた
8	18	M	A1	35	20	5	●	バスを利用しないと駅に行くのが難しいため、車内でパニックになるとおさえるのが大変だった
9	19	F	A1	51	20	5	●	奇声を出して周りに迷惑をかけてしまうため、電車やバスに乗せるのが難しかった。(今も)
10	34	M	A2	51	20	5	●	多目的トイレがなかったので、小学生になった子どもを女子トイレに入れられず我慢させた
11	38	F	A2	51	20	5	●	小さい時はあまり移動支援がなかったのでほとんど親がやっていた
1	8	男	B2	22	20	6	●	一人でどこかに行ってしまうことがあり、中学校の校庭に入り、木におしっこをしてしまい、小学校に連絡が行き、いろいろな施設に、写真と住所と連絡先と障害があることを書いたものを置かせていただきました。
2	18	M	A2	51	20	6	●	まだまだ理解啓発の段階
3	19	男	B2	51	20	6	●	子ども会も無いので付き合いがない。



項目20:障害児支援 ●:困った事 ヒントNO⑦:放課後・預かり支援

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	ヒ ン ト N O	○ ●	コメント ヒントNO⑦:放課後・預かり支援(学童クラブ、日中一時支援事業、児童デイサービス、延長保育、地域での保育、移動支援事業)
1	7	女	B3	21	20	7	●	おむつなので学童クラブには入れない。児童デイも本人が不通急に居るためほとんど門前払いされた。
2	7	M	A2	22	20	7	●	日中一時・デイ等の利用申請の際に障害福祉課の職員が担当によって対応が違い、日数申請に差が生じてくる
3	7	M	A2	23	20	7	●	契約事業所に移動支援を希望したら、お宅のお子さんには無理だと頭ごなしに断られた
4	7	M	A2	23	20	7	●	ある事業所の車の窓から、送迎中なのにガムを吐き捨てていてゾツとした
5	8	M	0	21	20	7	●	仕事をしているが、夏休みに本人の預け先の確保に苦勞した。ファミリーサポートに登録しているが、利用したことはない。
6	8	M	A2	22	20	7	●	児童デイサービスを受ける機会が少ない。(既に満員で3年待ちの状況)
7	8	F	B1	22	20	7	●	ほぼ毎回、トラブルになる事業所があり不安。
8	9	男	B2	21	20	7	●	おむつなので学童クラブには入れない。児童デイも本人が不通急に居るためほとんど門前払いされた。
9	9	F	B2	22	20	7	●	利用前の見学時に、告知前の子供の前で障害名を復唱された。他児童の個人情報への扱いにも疑問がある。
10	9	M	A1	23	20	7	●	養護学校に学童がない
11	10	M	A2	22	20	7	●	児童デイサービスを利用したいが、何年も待たされている。(週に何度も利用している人がいるのが納得できない)
12	11	M	B1	22	20	7	●	3年生まで児童クラブに通っていたが、4年からは入ることができず、ひとりで留守番をしなければならなくなった。
13	11	男	A1	23	20	7	●	夏休みなど長期の休暇の利用時間が短いので仕事をしていると困ることが多い
14	11	男	A1	23	20	7	●	事業所の数が少ない
15	12	M	0	20	20	7	●	児童デイが小6になるまで地域に無かった。療育施設まで往復100キロあり、移動支援のある方がうらやましかった。
16	12	M	B2	22	20	7	●	障害があるため幼稚園の預かり保育をやってもらえなかった。
17	12	F	A2	23	20	7	●	親が病気のとときに使える通学支援がない。
18	12	F	A2	23	20	7	●	夏休み期間、県の入所施設のプールや体育館で、委託された民間事業者が日中一時支援をしてくれるというので、申込みをしようとしたら、まだ受付期間前だったにも関わらず、「昨年度の利用者が優先で空いた枠があれば入れる」と言われた。今まで、どこの事業所でも、同種のサービスで既存の利用者と新規の利用者が申し込みの時点で差別された経験はない。納得がいかなかったので、利用をやめた。
19	13	M	B3	22	20	7	●	プールに入るのにヘルパーをお願いしたが、男性ヘルパーが少なく、脱衣所やトイレに付き添ってもらえず困った。
20	13	M	A2	23	20	7	●	学童クラブで、指導員の理解が得られず「私達は普通の主婦ですから」と開きなおられた。
21	14	M	0	21	20	7	●	学童クラブは、指導員同士の対立等で、あまり子どもに親身でなかった。柔軟な対応など求めようもなかった。
22	14	男	B2	22	20	7	●	デイサービスで、友達同士のけんかが、本人は見ているだけだがつらく、うつの原因になった。
23	14	M	A1	23	20	7	●	各種支援、当日の急な出来ごとに対応してくれないので、親が急に体調をくずしても仕方なく送迎した。
24	14	M	A1	23	20	7	●	親が具合悪いと通学できない
25	15	M	B2	34	20	7	●	放課後の居場所がなかった
26	15	M	A2	35	20	7	●	放課後支援が少ない
27	15	F	B2	35	20	7	●	本人はひとりで大丈夫と言ってサービスを受けたことがないのですが、他人との関わりを持つためにも利用した方が良いのか迷っている。
28	16	M	A1	35	20	7	●	母が体調不良の時、送迎手段がないので学校を休ませた。
29	17	M	A2	23	20	7	●	小学校・中学校の支援級に在籍し、教育支援を受けて、色々なことができるようになり感謝している
30	17	M	A2	23	20	7	●	支援級の学習計画が先生が変わるたびに元に戻り最初から始めることになってしまい、あまり進まなかったことが残念です
31	17	M	A2	23	20	7	●	小学校入学時してから、社会性を育てるために、学童保育に入れようと思ったが、断られた。最近では、随分改善されたようですが。

32	17	M	A2	23	20	7	● 中学、高校生の放課後支援が少ないので、一人で家でテレビを見たりゲームをすることが多い。
33	17	M	A2	35	20	7	● 緊急の際、どこも予約でいっぱい預かってもらえない所がない。
34	17	M	A2	35	20	7	● 児童ディサービスを子どもの状態を理由に断られた。
35	17	M	A2	35	20	7	● 当時、兄小3養護学校・妹小1地域支援級入学時に、下校時間が重なり、二人ともお迎えが必要だった為、妹を学校内設置の学童保育に入れようとしたら青少年課で「母親の就労証明書がないと、いかなる理由があっても学童保育の手続きは出来ない」と言われ納得できなかった。(*その後、ファミリーサポートセンターに登録したり、ちょうど4月から自立支援法が始まったのでそちらのサービスで乗り切りましたが、入学前(2月の時点では)お迎えの手段が決まらずとても不安でした。
36	18	M	0	34	20	7	● 年齢があがるにつれ、学校(放課後、休日)の過ごせる場所が少なくなる
37	18	M	A2	51	20	7	● 親や兄弟時が病気になった時に急なヘルプがなかなか頼めない
38	18	M	B1	51	20	7	● 親が入院する時、子どもが13歳だったので市内に短期入所ができず、他市にお願いした。
39	18	M	A1	51	20	7	● 放課後の移動支援で多動なので女性のヘルパーでは対応できず、男性ヘルパーは少ないのでと断られた
40	18	M	A1	51	20	7	● 日中一時支援利用時、担当ヘルパーが外に出てしまい、全く今まで子どもと関わったことのない施設の事務員が代わりに見ていたらしいが、子どもがいつも通りの行動をしようとしたのを止められ、怒った息子がその事務員に手を出してしまい、軽い怪我をさせてしまった。子どものしたことは親の責任だからと、こちらの保険で治療費を出すよう要求され、そのようになった。施設側には何も責任がないような説明だったが…本当にそうですか？
41	18	F	A1	51	20	7	● 本人が荒れていると、日中一時支援を遠慮してしまう。
42	18	F	B1		20	7	● 母の怪我で送迎できず、移動支援が通学に使えないため、長期で学校を休ませた。
43	19	男	B2	51	20	7	● 支援者が感情むき出しで怒る上、本人に説明もないのでやめた。
44	19	男	A2	51	20	7	● 移動支援では、特性の理解が浅く、本人用のスケジュールを持たせても活用しなかった。
45	19	男	A2	51	20	7	● 言葉による指示で不適應行動を起こしてしまい、トラウマになった。
46	19	M	B2	51	20	7	● 移動支援が使えないので、親が入院しているとき休ませた
47	19	M	A1	51	20	7	● 移動支援事業で、過ごし方・子どもの様子に対して嘘の報告を受けた
48	19	M	A2	51	20	7	● 移動支援を希望しても、事業所にヘルパーが足りなく利用出来ない
49	19	M	A1	51	20	7	● 日中一時で おやつに手を出したとして何度も手をたたかれた
50	20	M	B1	51	20	7	● 移動支援利用の際、毎回違ったヘルパーを派遣され、本人が本人のペースで楽しむことができない
51	20	M	A2	51	20	7	● 公共機関使用不可な子どもの通学に移動支援が使えず、介護タクシーを利用したが、毎日の事で金銭的負担が重かった
52	21	M	A1	51	20	7	● 以前は専門家のいる放課後預かりはなかった
53	21	男	A2	52	20	7	● 預り支援は大変ありがたい支援だが、自閉症の子どもにとっては人との関わりがネックになる。良く理解していない支援者ほど、本人に無理に関わろうとしてトラブルになる。
54	22	M	A1	51	20	7	● 通学、通所の付き添いしてくれる支援がなく困る
55	22	M	A2	51	20	7	● 母親が病気で通院しなければならない時、兄弟の参観日にも子ども(障害児)を連れて行かなければならないことがあり、当時は父が会社を抜け出して車の中で待っていた
56	23	M	A1	51	20	7	● 小学校時代送迎支援がなく、母がけがをして通学できなくなりそうになった
57	23	M	A1	51	20	7	● デイサービスに預けると、写真スケジュールを持たせても使用せず、いつも不安定になって帰宅した
58	24	M	A2	51	20	7	● 母親が病気の時は学校を休ませた。
59	24	男	A1	51	20	7	● 小学生のときから練習してきたショートステイの施設が利用できなくなった。非常に重度の自閉症なので、幼い時から経験を積み上げ、社会生活の獲得をするしかないのだけれど、大きくなってから新しい場所になじませることが難しく、福祉資源が利用できない。
60	24	F	B2	70	20	7	● 移動支援等はかなり前から予約しないと使えない。その時の調子で本当に使いたい時に使えない。
61	24	F	B2	70	20	7	● 移動支援を使った時、自閉症だとバカにして話していても真剣に話を聞いてくれなかった。
62	25	M	A1	51	20	7	● 障害があるため、学童ホームに断られた

63	28	M	A1	51	20	7	●	母親が働いていたため、祖母が世話をしていたが、当時は日中助けてくれるところがなく祖母もよく体を壊した、また雨の日など遊びに行くところがなくて困ったとよく言っていた
64	33	F	B1	51	20	7	●	作業所への移動支援で、車の到着が遅れたとき、作業所に遅刻してしまう、とパニックになり、車の到着を待たないで直接送ることになった
65	34	M	A2	51	20	7	●	親が病気で入院した時何も支援がなかったので施設の一時保護で預けるしかなかった
66	34	M	A2	51	20	7	●	預かり支援があったかも知れないが、職員に自閉症の知識が全くなく安心して預けられるところがなかった。
67	34	M	B1	61	20	7	●	放課後の預かり支援が無い時代で困った。
68	35	M	A1	51	20	7	●	放課後の預かり支援など全くない時代であった。
69	35	M	A1	51	20	7	●	現在のような移動支援事業がなかったので、親の気持ちに余裕を持つことができなかった。
70	35	M	A1	51	20	7	●	ガイドヘルパーなどの制度がなかったので弟妹の行事その他に参加できなかった
71	36	M	B1	51	20	7	●	小学校に入学する前に横浜の青いとり愛児園に通所していました。私が腰を悪くして子どもの送迎が一週間できなくなりました。こういうときに子どもを送迎して下さる方がいたらと思いました
72	38	F	A2	51	20	7	●	病気の時は父親が見たりして困った

項目20:障害児支援 ●:困った事 ヒントNO⑧:部活動 ⑨:学区習熟・習い事

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	ヒ ン ト N O	○ ●	コメント ヒントNO⑧:部活動 ⑨:学区習熟・習い事
1	12	男	0	22	20	8	●	公立中学では、支援級は部活動に参加できないと聞いて、残念に思う。
2	12	M	B2	22	20	8	●	支援級在籍。部活動は全く支援がないので入部できなかった。
3	15	M	B1	22	20	8	●	中学での部活動では、個別対応困難なため、参加を見合わせた。
4	15	M	B2	34	20	8	●	面倒見られない、と希望のクラブ入部がダメに
5	15	M	B1	35	20	8	●	部活動を体験させてあげたかった公立中学では障害児を受け入れるのは難しいのかな…と。
6	15	F	B1	35	20	8	●	部活動は自力で集合場所に来れるという条件があり、参加できない。レベルに応じた部活動支援支援がほしい
7	17	M	A2	23	20	8	●	地域の中学校では、入れる部活動がかぎられていたのが残念だった。入部禁止ではないが、支援がほとんどないため。
8	18	M	0	34	20	8	●	部活動では同じようにすることが厳しく求められた為、孤立。精神的にも追い詰められた。
9	19	F	A1	51	20	8	●	部活に所属させたかったが、「軽度の子しか無理」と言われた。
10	20	M	A2	52	20	8	●	中学で親の付き添いがないとダメと部活動に入れなかった
11	22	M	B3	61	20	8	●	部活動を希望したとしても、支援付きでない状況で参加することは現実には厳しいと考える。人間関係の橋渡しの役割を果たせるようなキーパーソン(先生でもボランティアでも)が見守る環境が望ましいと思われるが課外活動であることから多くは望めない現状ではないだろうか。
1	7	女	B3	21	20	9	●	スポーツで長時間のため試合に出ることができない。(おむつを外で取り換えられない)
2	8	男	B2	22	20	9	●	くもんやリトミックを習わせたいと思いましたが、その場で断られることが多く、体操は入ることができましたが、保護者の方から苦情がありやめました。
3	13	M	B3	22	20	9	●	スイミングスクールで皆と一緒に行動が出来ないと、コーチが肩をつかんで揺さぶり、「辞めてしまえ」と怒鳴った。
4	13	M	B3	22	20	9	●	スイミングスクールの着替え時に、局部が見えてしまい、他の子供に携帯で写真を撮られた。消去してもらえずパニックに。
5	16	M	B3	23	20	9	●	本人が部活動以外の運動を望んでいるが、所属に適した団体がない。
6	19	男	B2	51	20	9	●	水泳教室で、更衣室で他の子からの「からかい」にあい、更衣室を変えてくれるよう頼んだが変えてもらえなかった。
7	21	F	精3	42	20	9	●	習い事などでは様子を知ることが難しい。本人も言葉に表現できないので、つらいことが伝えづらい
8	21	M	A1	51	20	9	●	スイミングに通っていたが、大きくなると退会を勧められ、続けられなくなってしまった(小学生の中に一人大きな子がいる状態だったので)
9	21	M	A1	51	20	9	●	スイミングに通ったが特別な配慮がなかった
10	24	M	A2	51	20	9	●	スイミングで障害児クラスだったが、障害の理解がなかった。

項目20:障害児支援 20:望む事 ヒントNO①、②、③、④、⑤、⑥

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	20 30	ヒ ン ト N O	コメント ヒントNO①:乳幼児健診、②:児童相談所、③:生活、 ④:遊びの場、⑤:外出時、⑥:地域との関わり
1	9	M	精2	21	20	20	1	親がどう思おうと、健診でちゃんと説明して欲しい。学校や他の施設でも、なかなか突っ込んだことが言えず、ほおっておかれている子がたくさんいる。
2	9	M	0	22	20	20	1	将来の支援費用節約のためにも、教育、医療の専門性のあるスタッフ増員を。
3	10	F	0	21	20	20	1	発達障害を見抜ける専門家がいないと、せっかく健診をしても、抜け落ちる。
4	14	F	B2	22	20	20	1	医者や保健師などには、早期発見につとめてほしい。
5	19	男	A2	51	20	20	1	早期発見、早期療育は、発達に影響が大きい。
6	19	M	B2	72	20	20	1	ただ単に知的障害の可能性を伝えるのではなく、それに付随する障害等も説明してほしい。またそれに対する社会的保障や公的手続きやその窓口も教えてほしい。保健婦、保母、教師、それら子どもの教育に携わる専門職の人々は発達障害者をどれだけ理解し、その障害にたいして用意されている社会的保障や資源の知識を有しているのか疑わしく思う。ひとえに不勉強不親切、親身さに欠ける
7	20	女	A1	51	20	20	1	保健師、保育士、臨床心理士といった専門職の人たちにも、きちんとした自閉症の知識を身につけて欲しい。
8	22	M	B1	51	20	20	1	医師にもう少し知識と洞察力観察力があれば…
9	22	M	B3	72	20	20	1	発達障害児の早期療育や親向けの勉強会など、地域で積極的にやって欲しい。
10	24	M	A2	0	20	20	1	検診等で何か疑いがある子どもには専門的機関へ早期発見療育へ。なかなか人と交われないので、放課後等専門的支援のできる場所があればいい。
1	12	M	0	20	20	20	2	児童相談所で発達検査を受けると絶対にコピーをくれない。就学前に教育委員会の人頼んでもダメだった。連携と協力態勢をかंगाえてほしい。同じ話を相手と場所を変えて何度もしないとイケない。チームを作ってほしい。
2	12	F	B3	21	20	20	2	近所に療育や相談の施設がほしい
3	12	男	0	22	20	20	2	児相、かながわAなど、困っている時に相談できる場所があるのはありがたい。支援を継続していただけると嬉しい。
4	15	男	A1	23	20	20	2	支援者の障害理解(本人理解も含め)、無理をさせない、活動の見通しを持たせるなど、大切。何より本人が楽しんで参加できる場にするための対応が大切です。
5	17	F	A2	35	20	20	2	自閉症の理解
6	18	M	A2	51	20	20	2	早期に専門的な指導を受けられることを望む
7	19	男	B2	51	20	20	2	障害理解とともに、本人の特性を親から聞きとり本人に真摯に向き合うべき。
8	35	M	B1	61	20	20	2	児童だけではなく親の育児力をつけることが必要。寄り添いアドバイスを
1	19	M	B2	51	20	20	3	発達障害者が楽に生活できる環境がなれば有難い。
2	21	男	A2	52	20	20	3	物理的に住むことは十分に用意して欲しい。
3	28	M	A1	51	20	20	3	困ったときに相談に乗って、その場で具体的な対応をしてもらえるところがあるとよい。パニック状態のときなど本当に困った。
1	11	M	B2	22	20	20	4	余暇活動を広げるためのボランティアさんや、活動内容が増えると良いと思う。
2	14	男	B2	22	20	20	4	障害児同士の合う合わない(相性)があるあることを理解して欲しい。
3	19	M	B2	51	20	20	4	年齢が高くなるにつれて遊び場が少なくなるので、活動できる場所を増やしてほしい
4	19	F	A1	51	20	20	4	小さい時から健常児と一緒にすごす場がもっとあってもよいと思う。大人になってから理解するのは難しい。
5	37	男	A2	51	20	20	4	一般児童との関わりの中で、一般児童が自閉症を理解するようになればと思う。
1	11	M	B1	22	20	20	5	知的障がい者も優先席に座れるような配慮が欲しいです。
2	20	M	A2	51	20	20	5	身体障害の人とはまた違う困難さをもっている子どもたちの高校通学にもスクールバスがあると良いとおもう
1	37	M	A1	51	20	20	6	一人ひとりの理解

項目20:障害児支援 20:望む事 ヒントNO⑦:放課後・預かり支援

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	20 30	ヒ ン ト N O	コメント ヒントNO⑦:放課後・預かり支援(学童クラブ、日中一時支援事業、児童デイサービス、延長保育、地域での保育、移動支援事業)
1	7	女	B3	21	20	20	7	学童にも児童デイにも入れない中途半端な子どもを預かってもらえる場所が欲しい。
2	7	女	B3	21	20	20	7	通常級に居るので困っていないという考えを持っている人が多すぎる(児童デイの職員)
3	7	M	B2	22	20	20	7	一日に二か所以上の利用が出来ない事が困る(児童デイ)利用可能にしてほしい
4	7	M	A2	23	20	20	7	事業所の格差があつていいのでしょうか
5	8	M	0	21	20	20	7	海老名市は他市に比べて支援が進んでおり、本当に助かっている。今後ともよろしく願いたい。
6	8	M	A2	22	20	20	7	放課後預かり支援のサービス供給の増加を進めてほしい。
7	10	男	A2	23	20	20	7	公共の障害児支援は、もっと専門的で積極的は人が必要です。また、改善して行けるよう、多方面からの意見に耳を傾けてほしいです。例えばこのアンケートを障害児支援に関するスタッフが見るなど、声を末端の人まで届けてほしいです。
8	11	M	B3	22	20	20	7	日中一時で過ごせる場所が、もう少し広がると良いです。
9	12	M	0	20	20	20	7	支援担当者がチームを作って一緒に打ち合わせをしたいといつも思っていた。親を中心に放射状にしかネットワークがないのが不便だし不合理だと思う。
10	12	M	B2	22	20	20	7	見守りという支援の重要性が軽くとらえられていると思う。介助並みに重要視してもらいたい。
11	12	M	B2	22	20	20	7	とにかく事業所の数が少なく、使えて週1回。もっと数を多くしてほしい。
12	12	M	2 歳	22	20	20	7	全てにおいて発達障害、(アスペルガー症候群・ADHD・高機能自閉症)の理解が進んでいないことが問題
13	13	M	A2	23	20	20	7	現在は児童デイができ、とても助かっているが、まだまだ理解されていない。
14	13	M	A2	23	20	20	7	高等部になっても利用できる事業所が増えてほしい
15	14	M	A1	23	20	20	7	障害児本人だけでなく兄弟への支援(兄弟向けの放課後預かり支援等)があると本人の通院の時など助かると思う。
16	14	M	A2	23	20	20	7	もう少し支援の場所が増えてほしい。利用しやすい方法があればと思います。役所の手続きもかなり面倒である。
17	14	M	A1	23	20	20	7	日中一時支援、デイサービスなどの事業所が増えてほしい
18	15	M	A2	23	20	20	7	休日の支援が欲しい。
19	15	M	B1	35	20	20	7	送迎のみでもガイヘルを利用できるようにしてほしい。
20	16	M	B2	33	20	20	7	支援できる専門家が増えてほしい
21	16	M	A1	35	20	20	7	通学支援。(家族が体調を崩すと登校できない。)
22	16	M	A1	35	20	20	7	放課後、休日の居場所(気軽に立ち寄れる場所。荒天時の移動支援の外出先)
23	17	M	B2	35	20	20	7	特別扱いしない、お客さん状態にしない。"人として"扱って欲しい。
24	18	M	B1	51	20	20	7	1人通学が困難な子どもにはガイドヘルパーなどのサポートがほしい。
25	19	男	A2	51	20	20	7	療育や支援は、個別であることを常に意識してもらいたい。
26	19	M	A1	51	20	20	7	自閉症の理解
27	19	F	A1	51	20	20	7	本人が楽しく、笑顔で過ごせる、参加できるための支援を望む。
28	21	男	A2	52	20	20	7	関わり人は、家族とよく話して、本人中心に考えることを忘れないで。
29	22	男	A1	51	20	20	7	親への教育と適度な預かり支援。
30	22	M	A1	51	20	20	7	通所先、移動支援事業所、一時的利用の場と親が本人を中心にきちんと話し合い、「親の理由」だけではない支援をすること
31	23	F	A2	51	20	20	7	高等部に入るまで、支援の利用について情報があまりなかった。親の勉強不足もあるが、支援があればもっと豊かに生活できることを伝えて欲しかった。
32	23	M	A1	51	20	20	7	専門性や支援できる場所を増やす必要がある
33	24	M	A2	51	20	20	7	子どもが小さい時は、本人も理解できないので人手が欲しい。家族だけでは限界がある。
34	24	男	A1	51	20	20	7	今の制度で画一的に考えず、個別のニーズに合わせてサービスを展開し、成人になる見通しをたてて支援計画が作られること。

35	24	F	B2	70	20	20	7	どうも“自閉症はこうだ”と型にはめて理解しようとする傾向があるようです。そのほうが楽だからなのでしょうが、必ずしも同じ対応でよい訳ではない事をわかってください。
36	35	M	A1	51	20	20	7	本人への直接支援よりも、親に対して継続的に的確なアドバイスができる機関を望む。
37	35	M	A1	51	20	20	7	兄弟にも支援を
38	38	M	A2	51	20	20	7	特別支援学級・学校の先生はしっかり教育を受けてほしい

項目20:障害児支援 20:望む事 ヒントNO⑧:部活動、⑨:学習塾・習い事

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	20 30	ヒ ン ト N O	コメント ヒントNO⑧:部活動、⑨:学習塾・習い事
1	18	M	0	34	20	20	8	個々に、求めることが異なる為、先生は配慮すべき点について校内全ての先生同士で情報を共有しておいてほしい
2	17	M	A2	23	20	20	9	※義務教育が終わった高校生以降の支援を充実させてほしい。社会人として生きていくためには、たくさん学ぶことがあるので。
2	20	M	A2	52	20	20	9	情緒を安定させる習い事が近くにないので、遠方まで通った。近くにあると良いと思う
4	21	M	A1	51	20	20	9	習い事に障害児クラスがあるといいと思う
5	36	M	B1	51	20	20	9	障害児だからこのくらい学ばせればおいということではなく、その子のよいところをどんどん広げていく教育をしていただきたいと思います

項目20:障害児支援 30:求める合理的配慮 ヒントNO①、②、③、⑤、⑥、⑦、⑧

N O	年 齢	男 女	手 帳	分 類	項 目	20 30	ヒ ン ト N O	コメント ヒントNO①:乳幼児健診、②:児童相談所、③:生活、⑤:外出時、 ⑥:地域との関わり、⑦:放課後・預かり支援、⑧:部活動、
1	9	M	精2	21	20	30	1	乳幼児に限定せず、学齢期においても健診をするべきだと思う。
2	24	男	A1	51	20	30	1	とりあえず障害特性を支援者がきちんと理解していることが第一。次に支援者を支えるコンサルテーションできる専門家と連携できる体制があること。
1	18	M	B1	51	20	30	2	相談する機関で子どもだけでなく、親のケアもしてほしい。
2	19	M	A1	51	20	30	2	親とのこまめな情報交換
1	11	M	0	22	20	30	3	交通事故にあい、損保の事故担当者の方に子どもの事を話し、学校に行けなくなった息子をケガの病院以外でクリニックでの通院をOKにしてくださいました。事故との因果関係がどうと言われるかなと思いましたが、気持ちよくこちらの状態も分かってくれ、言ってみてよかったですと思いました。
2	35	M	B1	61	20	30	3	専門性と個別支援、クールダウンの別室があること
1	19	F	A1	51	20	30	5	公共機関でもっと配慮してもらえたら、自由に外出できるのと思う。
2	24	M	A2	51	20	30	5	駐車禁止除外のカードは、多動のひどい小さい子供こそ必要である。
1	12	M	B2	22	20	30	6	地域差がなく、どこに住んでいても一定水準の支援が受けられるようになってほしい。
2	12	M	B 2 精 3	22	20	30	6	「子どもなんて皆同じ」「苦手な事は皆ある」「障害でなくて個性でしょ」というこうした考え方が必要な支援から個人を遠ざけてしまい、支援をエコひいきや不平等と感じさせてしまう。発達障害も目が見えない、耳が聞こえないという障害と同じで、スペシャルなサポートを必要とすることを社会に認識していく必要があると思います。
3	25	M	A1	51	20	30	6	障害者自立支援法により地域で安心して暮らせるようになった
4	35	M	A1	51	20	30	6	地域で急な事態にも対応可能な援助者、協力者がいること
1	9	F	B2	22	20	30	7	職員の理解
2	13	M	A2	23	20	30	7	自傷、他害、暴言(これらをわざとやっていると言う先生が多いのに驚きます)のある高機能の子ども達は受け皿が無い状況と聞きます。なんとかならないか。
3	14	男	B2	22	20	30	7	障害児は単にひとまとめにするのではなく、メンバー構成を配慮して欲しい。
4	14	M	A2	23	20	30	7	市へ提出する申請も1年ごとでなく、療育手帳と同じ年数有効にしてくれるとかもう少し工夫してほしい。
5	16	M	A1	35	20	30	7	夏休みを短くして欲しい。
6	17	F	A2	35	20	30	7	必要に応じてコミュニケーションツールを使うなどしてわかりやすく接してほしい
7	19	M	B2	51	20	30	7	障害児をしっかりときめ細かく支援してほしい。
8	19	M	A2	51	20	30	7	支援する側は特性を理解して対応する事が大前提である
9	19	F	A1	51	20	30	7	同年齢の子どもたちが経験するようなことを同じように経験するためのサポート。
10	21	男	A2	52	20	30	7	本人の事を簡単に分かるツールを持っていると良い
11	22	M	A1	51	20	30	7	本人の発達保障をした計画を作成したうえでの利用
12	23	F	A2	51	20	30	7	本人が希望したら、すぐに支援がないと意味のないことになる。
13	28	M	A1	51	20	30	7	自閉症にたいする理解のある方たちの存在
14	37	男	A2	51	20	30	7	一般児童と自閉症児との間に、通訳のような専門教育を受けた支援者が居て欲しい。
1	16	M	B2	33	20	30	8	選んで学校に通えるくらいに専門性がはっきりしてくれると安心して通わせられる